

Nutanix AOS は、各種 Nutanix ソフトウェアおよびハードウェアのファームウェアを一括でアップグレードすることを可能にする Life Cycle Manager (LCM) と呼ばれる機能を有します。LCM を使用することで、クラスターのソフトウェアやファームウェアを低い運用負荷で最新のバージョンに更新することが可能です。

このドキュメントでは、Prism Element(AOS クラスター)における LCM を用いたアップグレードの概要をご案内します。

【おことわり】スクリーンショットは、LCM や AOS のバージョンに応じて若干異なる場合があります。

LCM 利用の要件

すべての CVM から LCM のアップグレードバンドルへアクセスできる必要があります。インターネット上の Nutanix サーバーにアクセスさせるか、あるいはローカル Web サーバー上にバンドルを準備する必要があります。

- インターネット上の Nutanix サーバー：以下 2 つのアドレス両方の名前解決および通信
 - download.nutanix.com (HTTP:80, HTTPS:443)
 - release-api.nutanix.com (HTTP:80)
- LCM bundle を展開したローカル Web サーバー：[\[LCM 用ローカル Web サーバーの構築\]](#)をご参照ください

HTTP/HTTPS プロキシを設定した環境で、インターネット上の Nutanix サーバーをご利用になる場合は、AOS に構成したネームサーバー(DNS サーバー)が上記アドレスの名前解決ができる必要があります。もし、構成したネームサーバーが上記アドレスの名前解決ができない場合は、ローカル Web サーバーの構成をご検討ください。

LCM は 1 ノードクラスターでもご利用頂けますが、ファームウェアのアップグレードは LCM からは実施できません。

Dell Technologies 社製のサーバーをご利用の環境では、iSM および PTAgent のバージョン要件があります。本ドキュメント掲載時点で、LCM の利用のためには以下バージョンが必要です。詳細については、LCM リリースノートをご参照ください。

もし、現在のバージョンが以下より低い場合は、LCM ご利用の前にサポートされるバージョンへの手動アップグレードが必要です。手動でのアップグレード手順については、Dell Technologies 社までお問い合わせください。

- iSM: 3.4.0 以上
- PTAgent: 1.9.0 以上

ご利用のハイパーバイザーのネットワーク構成によっては、LCM がご利用頂けない場合があります。詳細については、LCM リリースノートの[**Known Issues**]および[**Limitations**]の項をご確認ください。

LCM によるアップグレードの流れ

LCM を用いたアップグレードを実施する場合は、以下の流れで行います。

- Perform Inventory (クラスター構成情報の棚卸しとアップデートの最新化)の実施
- アップグレードの実施

Perform Inventory の実施によって、LCM 自身は最新のバージョンにアップグレードされます。LCM は、常にアップグレード実施時の最新バージョンを使用することが想定されています。

Perform Inventory によるクラスターあるいは仮想マシンへの影響はありません。また、LCM のアップグレードはクラスターの動作を維持しながら、必要に応じて仮想マシンを他ホストに移動しながら実施するため、アップグレード中も仮想マシンを継続して稼動することができます。

Perform Inventory の実施

LCM の画面を表示します。

- AOS 5.11 以降：Prism のメニューより **LCM** を選択。
- AOS 5.10： **ギアアイコン**を選択→**Life Cycle Manager(ライフサイクル管理)**を選択

Inventory->Perform Inventory または **Options ->Inventory** を選択し、**Perform Inventory** を開始します。この作業の完了には、数十分程度かかります。

Performing Inventory

This can take several minutes depending on the size of your cluster. Once completed, you can view available updates for the cluster.

To Monitor the progress, go to [Tasks](#).

0%

Stage 1/2: Precheck Operation

Stage 1: Precheck Operation (running) ▾

Started on March 26, 2021 9:58:59 PM

Stage 2: Inventory Operation (queued)

Created on March 26, 2021 9:58:58 PM

Perform Inventory が完了すると、**Inventory** の画面に現在のクラスターの構成(ソフトウェア、ファームウェアのバージョン)が表示されるようになります。

The Inventory view shows the installed software and firmware versions, along with their last updated time.

Buttons: Perform Inventory, Export, Settings, View By ▾

Installed versions on 1 cluster

Cluster	AHV hypervisor	AOS	Cluster Maintenance Utilities	File Server	Foundation	Foundation Platforms	NCC
██████████	e17.nutanix.20190916.321	5.15.4	2.0.3	3.7.2	4.6.1	21	4.0.01

Installed versions on 4 hosts

Host	BIOS	BMCs	HBAs	Drivers	Host Boot Device - Satadom	NICs	SATA Drives
██████████ Details ▾	G4G5T5.0	3.64	MPTFW-16.00.01.00-IT	Various on 3 entities	S670330N	Various on 2 entities	Various on 3 entities
██████████ Details ▾	G4G5T5.0	3.64	MPTFW-16.00.01.00-IT	Various on 3 entities	S670330N	Various on 2 entities	Various on 3 entities
██████████ Details ▾	G4G5T5.0	3.64	MPTFW-16.00.01.00-IT	Various on 3 entities	S670330N	Various on 2 entities	Various on 3 entities
██████████ Details ▾	G4G5T5.0	3.64	MPTFW-16.00.01.00-IT	Various on 3 entities	S670330N	Various on 2 entities	Various on 3 entities

また、**Updates -> Software/Firmware** の画面から、アップグレード可能なコンポーネントを選択できるようになります。

The latest available versions have been auto populated. If available, you may select other versions. LCM will auto-select the entity version to resolve any dependencies. Please review all selections before continuing.

Buttons: View Update Plan, NCC Check, Settings

Viewing all 10 Software Updates

Software	Available Version	Current Version	Last Updated	Release Notes
<input type="checkbox"/> AHV hypervisor	e17.nutanix.202105.1082 6 version updates	e17.nutanix.20190916.321 4 entities		View Release Notes
<input type="checkbox"/> AOS	5.15.5.1 LTS Release Date: March 24, 2021 3 version updates	5.15.4 LTS 1 entities		View Release Notes
<input type="checkbox"/> Foundation	4.6.2 1 version update	4.6.1 4 entities		View Release Notes
<input type="checkbox"/> NCC	4.0.1 1 version update	4.0.0.1		View Release Notes

Filters

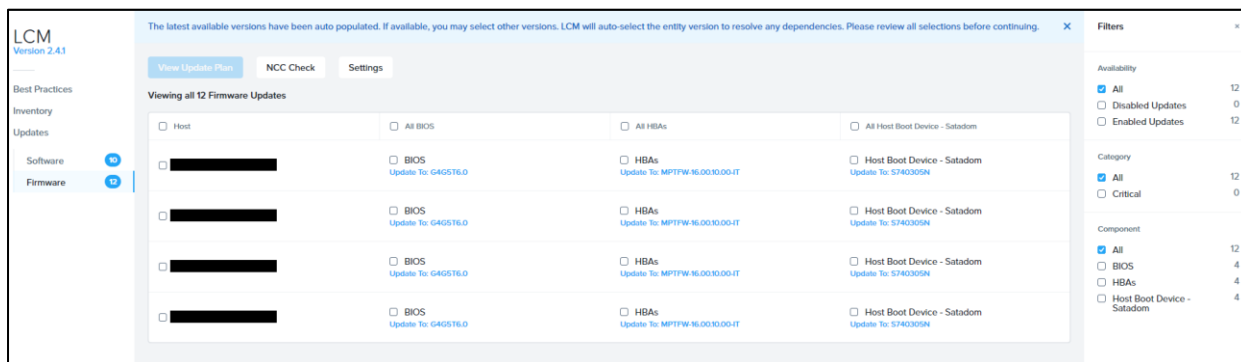
Availability	Count
<input checked="" type="checkbox"/> All	10
<input type="checkbox"/> Disabled Updates	0
<input type="checkbox"/> Enabled Updates	10

Category

Category	Count
<input checked="" type="checkbox"/> All	10
<input type="checkbox"/> Critical	0

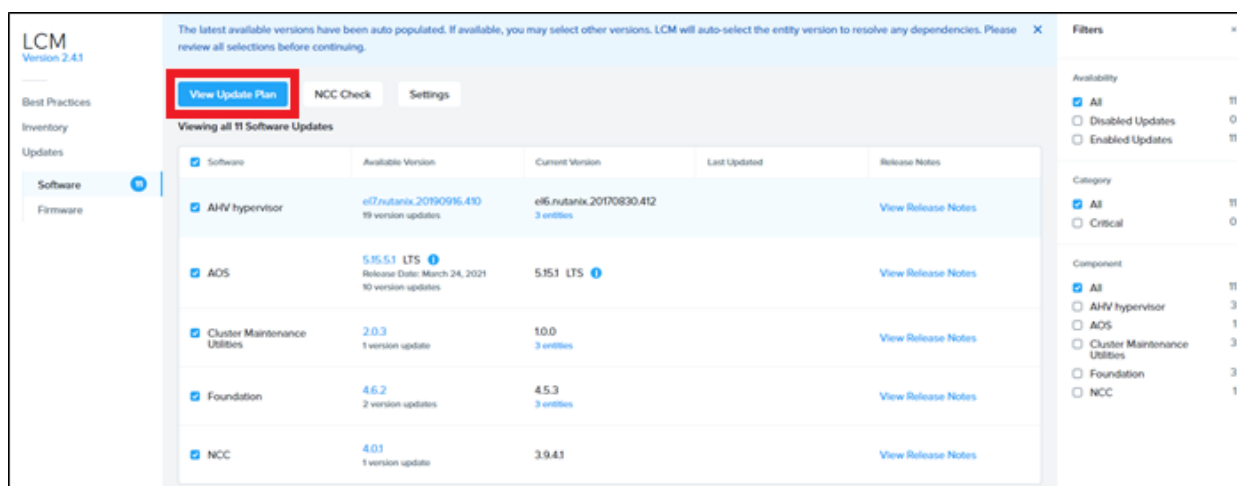
Component

Component	Count
<input checked="" type="checkbox"/> All	10
<input type="checkbox"/> AHV hypervisor	4
<input type="checkbox"/> AOS	1
<input type="checkbox"/> Foundation	4
<input type="checkbox"/> NCC	1



アップグレードの実施

- **Updates -> Software/Firmware** のそれぞれの画面で、アップグレードするコンポーネントの左のチェックボックスを入れます。
 - 各コンポーネントのバージョンのリンクをクリックすることで、バージョンを選択できます。
 - ソフトウェアアップグレードは、クラスター全体でバージョンを統一する必要があるため、ソフトウェア単位で選択します。
 - ファームウェアアップグレードは、アップグレード対象のホストを指定して選択することが可能です。
 - 依存関係の事情により、一部のコンポーネントのアップグレードを対象として選択すると、他のコンポーネント(Foundation, AOS など)も自動的にアップグレード対象として選択される場合があります。
- **Updates -> Software/Firmware** のどちらかの画面で、**View Update Plan** をクリックします。



以降は、アップグレード対象や環境によって、画面の表示が変わる場合があります。適宜 **Next** または **Apply xx Updates** クリックして先に進みます。

- 選択されたアップグレード対象の一覧が表示されます。
- アップグレードの内容によっては、他ソフトウェアとの互換性を確認するよう促すメッセージが表示さ

れます。適宜画面の指示を確認ください。

- ESXi の場合は、vCenter の IP アドレスと認証情報の入力が必要です。

Review

1 Review Selected Updates 2 Enter vCenter Credentials

Enter server details and credentials.

vCenter IP Address

IP Address

Username

domain\username or username@domain

Password

Show

LCM checks for non-migratable VMs on ESXi hosts before deploying updates.

Back Cancel Apply 4 Updates

- ホストの停止が必要なアップグレードが含まれる場合は、仮想マシンの移動可能性のチェックが行われます。ここで、安全に移動できない仮想マシンが検出されると、その旨が通知されます。
 - エージェント VM や、アフィニティの都合で移動できない仮想マシンが表示されます。
 - vSphere DRS が無効である環境では、再起動が発生する対象のホストで稼動する CVM 以外のすべての仮想マシンが表示されます。
 - ESXi の場合：**Automatically shut down VMs through LCM** のチェックボックスを選択すると、移動できない VM は LCM が強制的にシャットダウンします。アップグレード完了後、パワーオフされた仮想マシンは自動的に再度パワーオンされます。このチェックボックスを入れない場合は、アップグレードを開始する前に、表示されている仮想マシンを手動で vMotion にて他のホストに移動するか、パワーオフする必要があります。このチェックボックスを入れない状態でアップグレードを開始し、ホスト停止時に未だ移動できない仮想マシンが存在する場合、アップグレードが失敗します。

Review

1 Review Selected Updates 2 Enter vCenter Credentials 3 Review Non-migratable VMs

Please note, this VMs list might change if other admin deployed VMs related actions at the same time. X

LCM updates put the host into maintenance mode, and require any running VMs on the host to be either shut down or migrated to another host. If non-migratable VMs are present, LCM cannot perform updates. Before performing an LCM update, shut down any non-migratable VMs or manually migrate them. For information about pinned VMs, see [KB 8464](#).

There are 1 non-migratable VMs on the selected hosts. Use the options below to specify how you want LCM to handle the non-migratable VMs.

1 Total VM

Name	Type	Hypervisor	Status
[REDACTED] (1 VM)	Host	ESXi	Virtual machine 'HostAffinity VM' on host [REDACTED] would violate a virtual machine - host affinity rule.

Choose Action for ESXi Non-migratable VMs

Automatically shut down non-migratable VMs through LCM

Set LCM to shut down non-migratable VMs on ESXi hosts using vCenter APIs. LCM first attempts a graceful shutdown of the guest operating system. If a graceful shutdown is not possible, LCM performs a hard shutdown.

If you do not select "Automatically shut down pinned VMs through LCM", you must either shut down non-migratable VMs or migrate them manually. Otherwise, LCM upgrade will fail. [Why?](#)

Back Cancel Apply 4 Updates

- AHV の場合：移動できない仮想マシンは LCM が強制的にパワーオフします。アップグレード完了後、パワーオフされた仮想マシンは自動的に再度パワーオンされます。

To apply these updates, each node will boot into a separate utility, one node at a time. Each node could reboot multiple times (depending on component/version) and user workloads will not be affected as automatic migration of workloads to other nodes will be handled by the update process. Please ensure your cluster has sufficient compute and storage resources to handle one node being offline during the rolling update process. Refer to [KB 6945](#) for more details.

Please note: There is 1 VM that is currently not live migratable. If left running, this VM will be automatically powered off when its parent host starts upgrading, and powered back on after the upgrade has completed.

Once the update process begins, it cannot be stopped or paused.

Do you want to apply the selected updates?

Firmware Updates

Host	BIOS
[REDACTED] Details	G4G5T6.0 Installed: G4G5T5.0

Cancel Apply 1 Updates

最終的に **Apply xx Updates** をクリックすると、アップグレードが開始します。

Applying Updates

Life Cycle Manager is currently applying updates. Check back when the update process is completed.

To Monitor the progress, go to [Tasks](#).

You can stop most updates with the 'Stop Update' button. LCM automatically chooses the safest time to stop, depending on the current status of the update. Not all updates can be stopped.

0%

Stage 1/2: Precheck Operation

- Stage 1: Precheck Operation (running) ▾
Started on March 28, 2021 12:13:34 PM
-
- Stage 2: Upgrade Operation (queued)
Created on March 28, 2021 12:13:32 PM
-

Stop Update

LCM 用ローカル Web サーバーの構築

LCM は、インターネット経由でアップグレードモジュールをダウンロードします。CVM がインターネットに接続できない環境の場合は、アップグレードモジュールを提供するローカル Web サーバーの構築が必要です。

以下では、Linux(CentOS)を使用したローカル Web サーバー(HTTP)構築手順例をご案内します。以下手順は、本ドキュメント掲載時点で、CentOS 7.9.2009 および CentOS 8.3.2011 にて実行可能であることを確認しております。

LCM は、常にアップグレード実施時の最新バージョンを使用することが想定されています。以前のアップグレードで使用したローカル Web サーバーを再利用することは可能ですが、その場合でも[\[LCM バンドルの配置\]](#)の手順を再実施し、ファイルを最新化した状態で実施ください。

事前準備

- ローカル Web サーバーに割り当てる IP アドレスを決定します。この IP アドレスは、CVM から TCP:80 で通信可能であるように選択、およびネットワークを構成ください。
- ローカル Web サーバーをセットアップする物理サーバーあるいは仮想サーバーを用意します。アップグレードを実施する AOS クラスター上に仮想サーバーとして構成しても構いません。
 - 1 ノードクラスターで AOS や AHV をアップグレードする際は、ホスト上のすべての仮想マシンを事前にパワーオフしておく必要があります。このため、ローカル Web サーバーはアップグレードを実施するホストの外に配置する必要があります。
 - スペックの明確な要件はありません。Web サーバーからのファイルのダウンロードが円滑に実施できる程度であれば問題ありません。
- AOS クラスターに HTTP プロキシを構成している場合は、当該 IP アドレスをホワイトリストに追加します。詳細は[\[CONFIGURING HTTP PROXY - PRISM WEB CONSOLE GUIDE\]](#)をご参照ください。

OS のインストール

- 用意したサーバーに、通常の手順により CentOS をインストールします。インストール時またはインストール後に、サーバーに対し CVM から接続可能な IP アドレスおよび使用するネットワークのネットマスク、ゲートウェイを設定します。
- インストール後、CentOS の yum レポジトリが使用可能となるように適宜マウントした ISO イメージあるいは LAN に存在するローカルレポジトリを利用できるように設定を行います。

HTTP サーバーのインストール

インストール後の CentOS に root ユーザーでログインし、以下コマンドで HTTP サーバー (httpd, Apache HTTP Server) をセットアップします。

※ 設定されたレポジトリ利用のために必要なオプション (`--enablerepo` など) があれば、適宜 yum に追加ください。

```
root@linux# sudo yum update -y
```

```
root@linux# sudo yum install httpd -y
```

HTTP サーバーとして機能させるために必要なポート (TCP:80) の開放を行います。

```
root@linux# sudo firewall-cmd --permanent --zone=public --add-service=http
```

```
root@linux# sudo firewall-cmd --reload
```

HTTP サーバーの設定値を確認します。通常はデフォルトで問題ありません。

```
root@linux# sudo vi /etc/httpd/conf/httpd.conf
```

デフォルト設定の以下の行が存在する事を確認します。

```
ServerRoot "/etc/httpd"
```

```
DocumentRoot "/var/www/html"
```

```
Listen 80
```

設定変更後、HTTP サーバーを再起動・および自動起動を有効化します。

```
root@linux# sudo systemctl restart httpd
```

```
root@linux# sudo systemctl enable httpd
```

いずれかの CVM に **nutanix** ユーザーでログインし、以下コマンドを実行し、Web サーバーにアクセスできることを確認します。アクセスができる状態であると、以下コマンドが CVM の台数分 **success** を出力します。

```
nutanix@cvm$ allssh 'curl http://<WebサーバーのIPアドレス>:80/ >/dev/null 2>/dev/null && echo success'
```

```
===== xx.yy.zz.1 =====
```

```
success
```

```
===== xx.yy.zz.2 =====
```

```
success
```

```
===== xx.yy.zz.3 =====
```

```
success
```

ローカル Web サーバーのターミナルに戻り、LCM 用のディレクトリ(**/var/www/html/release**)を作成します。

```
root@linux# mkdir -p -m 755 /var/www/html/release
```

```
root@linux# cd /var/www/html/release
```

LCM バンドルの配置

弊社サポートポータルの[\[Downloads\]](#)ページより、LCM バンドルを入手します。

必要なファイルは以下の通りです。

- LCM Dark Site Bundle (LCM のページより入手)
- アップグレード対象の LCM Bundle (Dark Site Bundle)
 - ファームウェア：LCM のページよりご利用のハードウェアに対応したバンドルを入手
 - ソフトウェア：AHV, Cluster Maintenance Utilities 等、各ソフトウェアのページより入手
- 最新コンパチビリティファイル：LCM または各ソフトウェアのページ上部 **Notes** 内のリンクより入手 (いずれも同一ファイル)
 - **nutanix_compatibility.tgz**
 - **nutanix_compatibility.tgz.sign**

AOS のアップグレードに伴う AHV のアップグレードであっても、AHV の LCM Bundle を別途入手・展開する必要があります。

入手したすべての tar ボールは、Web サーバーの `/var/www/html/release` 以下に展開します。

```
root@linux# tar -xvf lcm_dark_site_bundle_version.tar.gz # LCM Dark Site Bundle を /var/www/html/release 以下に配置し
```

た後のコマンド実行例

コンパチビリティファイルも、Web サーバーの `/var/www/html/release` 以下に格納します。LCM Dark Site Bundle の tar ボール内に同名ファイルが含まれますが、ダウンロードした最新のファイルで上書きします。

LCM のアップデート情報参照先の設定変更

LCM の画面を表示します。

- AOS 5.11 以降：Prism のメニューより **LCM** を選択。
- AOS 5.10：ギアアイコンを選択→**Life Cycle Manager(ライフサイクル管理)**を選択

Inventory->Settings または **Options -> Advanced Settings** を選択し、**[Life Cycle Manager Advanced Settings]** 画面を表示します。

The screenshot shows a window titled "Life Cycle Manager Advanced Settings". Inside, it states "LCM currently fetches updates from the following source." Below this, there are two fields: "Source" with a dropdown menu currently showing "Local web server (Darksite)", and "URL" with a text input field containing "URL". A small note below the URL field says "Enter a valid URL". Further down, there is a checkbox for "Enable LCM Auto Inventory" which is currently unchecked. Below that, there is a descriptive text: "Set LCM to perform an inventory every 24 hours at 3:00 AM local cluster time. If a new version of the LCM framework is available, LCM updates itself automatically after the inventory." Below this text is another checkbox for "Specify a time for LCM auto inventory", which is also unchecked. Underneath, there is a "Time" label and a text input field containing "3:00 am". At the bottom right of the dialog, there are two buttons: "Cancel" and "Save".

Source のプルダウンメニューが存在する場合は、**Local web server (Darksite)**を選択します。
表示された画面の URL のテキストボックスに、以下の URL を入力します。

<http://<WebサーバーのIPアドレス>/release>

Save を押して保存します。

以降は、[\[LCMによるアップグレードの流れ\]](#)に従い、[\[Perform Inventoryの実施\]](#)に進みます。

よくあるお問い合わせ (FAQ)

Q01: LCM によるアップグレードは、仮想マシンやクラスターの動作に影響はありますか？

LCM によるソフトウェア・ファームウェアのアップグレードは、CVM やホストの再起動が必要になる場合があります。しかし、ライブマイグレーションや CVM のフェイルオーバー機能を使用して、仮想マシンに影響が出ないように実施されます。ホストの再起動が必要となるアップグレードでは、再起動の必要なタイミングで、LCM が自動的に当該ホストをメンテナンスモードに移行します。アップグレード対象のコンポーネントごとにホストや CVM の再起動が必要かどうかは [\[KB 6107\]](#) をご参照ください。

Q02: アップグレードにはどのくらい時間が掛かりますか？

大まかな目安として、以下程度の時間を要します。 [\[KB 6945\]](#) もご参照ください。

- AOS アップグレード：ノードあたり 15-20 分
- AHV アップグレード：ノードあたり 30-45 分
- Foundation, NCC：1-5 分
- ファームウェアアップグレード：ノードあたり 20-90 分

Q03: アップグレードするコンポーネントの順序に推奨はありますか？

アップグレードの順番の推奨は、 [\[RECOMMENDED UPGRADE ORDER - ACROPOLIS UPGRADE GUIDE\]](#) をご参照ください。なお、LCM で複数のコンポーネントを選択して一度にアップグレードした場合は、順序の推奨を守るように自動的にアップグレードプランが策定されます。

Q04: vSphere DRS が使用できない環境ですが、LCM によるアップグレードは実施可能ですか？

実施可能です。ただし、ホストの再起動が必要なファームウェアのアップグレードを実施するためには、CVM 以外の仮想マシンを対象ホストから待避する必要があります。

- あらかじめ手動で対象ホストから vMotion で再起動の発生しない他のホストに移動しておく
- あらかじめ手動でパワーオフしておく
- LCM からパワーオフさせるチェックボックス **Automatically shut down VMs through LCM** にチェックを入れる

アップグレード対象のすべてのホストから仮想マシンを同時に待避できない場合は、一度にすべてのホストを選択せず、仮想マシンを待避できたホストだけを選択肢、LCM からアップグレードを実施ください。アップグレードが完了後、次のホストから仮想マシンを待避し、再度 LCM からアップグレードを実施します。

Q05: 1 ノードクラスター(SNRT)でも、LCM は使用できますか？

LCM によるソフトウェアアップグレードは、1 ノードクラスターであっても LCM から実施可能です。LCM によるファームウェアのアップグレードは、1 ノードクラスターでは実施いただけません。

- 1 ノードクラスターのファームウェアアップグレードは、マニュアル手順にて実行ください。
 - Nutanix NX シリーズにおけるマニュアルでのファームウェアアップグレード手順については、[\[NX SERIES HARDWARE ADMINISTRATION GUIDE\]](#) をご参照ください。
 - Nutanix 以外のサーバーハードウェアにおけるマニュアルでのファームウェアアップグレード手順については、ご利用のサーバーのベンダーにお問い合わせください。
- 1 ノードクラスターで AOS や AHV をアップグレードする際は、ホスト上のすべての仮想マシンを事前にパワーオフしておく必要があります。このため、ローカル Web サーバーはアップグレードを実施するホストの外に配置する必要があります。

Q06: アップグレード候補に表示されるが、選択できないファームウェアがあります

アップグレードが強く推奨されるコンポーネントが存在する場合は、当該コンポーネントをアップグレードするまで、他のコンポーネントのアップグレードが実施できない場合があります。詳細につきましては、[\[KB 9111\]](#) をご参照ください。

Q07: アップグレードするつもりのないコンポーネントがアップグレード対象に選択されています

LCM は、コンポーネントの依存関係に応じ、自動的にアップグレード対象を追加する場合があります。主なものとして、以下があります。

- ファームウェアのアップグレードにあたり、Foundation のアップグレードが選択される場合があります。
- AHV のアップグレードにあたり、対応する AOS へのアップグレードが同時に選択されます。

Q08: LCM 用ローカル Web サーバーを Windows サーバーで構築することは可能ですか？

Windows/IIS での構築手順を [\[LIFE CYCLE MANAGER DARK SITE GUIDE\]](#)にてご案内しております。

注意点として、tar ボールの展開に WinZip をご利用頂いた場合、WinZip の設定により tar ボールの展開時にテキストファイルの改行コードが変更されてしまい、これが動作不良を引き起こすケースがあります。

[\[TROUBLESHOOTING FILE EXTRACTION FOR A WEB SERVER\]](#) の記載に従い、WinZip において **Settings > Advanced > TAR file smart CR/LF (WinZip の設定 > 上級版 > TAR ファイルのスマート CR/LF 変換)** のチェックボックスを外した上で、ファイルの操作を実施ください。

Q09: LCM 用ローカル Web サーバーにアップグレード対象の

ソフトウェアの LCM Bundle を配置しましたが、Perform Inventory を実施してもアップグレード候補に表示されません

- LCM 用ローカル Web サーバー上に LCM Bundle を配置して Perform Inventory を実施しても、最新のコンパチビリティファイルを配置していないと、アップグレード候補に表示されない場合があります。この場合は、LCM 用ローカル Web サーバーのコンパチビリティファイルを更新し、再度 Perform Inventory を実施ください。
- アップグレード対象のコンポーネントが満たすべき依存関係が満たされない場合、アップグレード候補に表示されません。よくあるケースとして、ファームウェアのアップグレードに最新の Foundation が必要である場合があります。1-click upgrade で Foundation を事前に最新バージョンへアップグレードするか、最新バージョンの Foundation の LCM Bundle をローカル Web サーバーにあわせて配置し、ファームウェアと一緒に Foundation もアップグレードください。
- LCM Bundle の提供の都合から、LCM 用ローカル Web サーバーを使用した AOS のアップグレードは、AOS 5.20 以降へのアップグレードでのみ実施できます。インターネット非接続環境での AOS5.19 以前のバージョンへの AOS アップグレードは、Settings (設定) → Upgrade Software (ソフトウェア アップグレード)より、AOS バンドルをアップロードして実施ください。

Q10: LCM 用ローカル Web サーバーを使用している環境で Perform Inventory を実施しても

AOS バンドルの AHV がアップグレード候補に表示されません

LCM 用ローカル Web サーバーを使用して AHV アップグレードを実施する場合は、AOS バンドルの AHV にアップグレードする場合でも、LCM 用ローカル Web サーバーに LCM Bundle を配置する必要があります。

す。この場合は、アップグレード先バージョンの AHV LCM Bundle とコンパチビリティファイルを正しく LCM 用ローカル Web サーバーに配置し、再度 Perform Inventory を実施ください。

Q11: LCM によるアップグレードでエラーが発生しました

- インターネット接続、あるいは iSM・PTAgent のバージョン等、LCM の要件を満たしているかご確認ください。
- LCM はインターネット接続あるいはローカル Web サーバーとの接続の都合、正常なネットワーク環境が必要です。ヘルスチェック(**ncc health_checks run_all**)において、DNS(ネームサーバー)、NTP、HTTP プロキシに係る問題が検出されている場合は、それらの解消をお試しください。
- アップグレード前のプリチェックでエラーとなった場合は、エラーメッセージ中に KB 番号が含まれる場合があります。この場合は、KB を参照頂き、問題への対処を実施ください。プリチェックの一覧は [\[KB 4584\]](#) をご参照ください。
- エラーメッセージ中に、以下の文字列が含まれる場合があります。

Logs have been collected and are available to download on <CVM の IP アドレス> at /home/nutanix/data/log_collector/lcm_logs_XXXXX.tar.gz

この場合は、IP アドレスが表示されている CVM 上に、エラーログバンドルが収集されています。これを WinSCP など回収頂き、Nutanix サポートまで送付し、対処をお問い合わせください。

- その他、問題への対処にご不明点がある場合は、Nutanix サポートまでお問い合わせください。

参考情報

※ ドキュメントは、バージョンによって分かれております。必要に応じて、[Software Documentation](#) よりアップグレード予定のバージョンのドキュメントをご参照ください。

[ACROPOLIS UPGRADE GUIDE (Acropolis アップグレードガイド)]

https://portal.nutanix.com/page/documents/details?targetId=Acropolis-Upgrade-Guide-v5_19:Acropolis-Upgrade-Guide-v5_19

[LIFE CYCLE MANAGER GUIDE]

https://portal.nutanix.com/page/documents/details?targetId=Life-Cycle-Manager-Guide-v2_4:Life-Cycle-Manager-Guide-v2_4

[LIFE CYCLE MANAGER DARK SITE GUIDE]

https://portal.nutanix.com/page/documents/details?targetId=Life-Cycle-Manager-Dark-Site-Guide-v2_4:Life-Cycle-Manager-Dark-Site-Guide-v2_4

[KB 7536 LCM-Generic FAQs]

<https://portal.nutanix.com/kb/7536>

[KB 4409 LCM: (Life Cycle Manager) Troubleshooting Guide]

<https://portal.nutanix.com/kb/4409>

[KB 5351 LCM: Troubleshooting LCM on Dell Clusters]

<https://portal.nutanix.com/kb/5351>

[KB 6134 LCM: Troubleshooting LCM on Lenovo Clusters]

<https://portal.nutanix.com/kb/6134>

[KB 9273 LCM: Troubleshooting LCM on HPE Clusters]

<https://portal.nutanix.com/kb/9273>